

一日断酒 例会出席	<h1 style="font-size: 2em;">断酒あしや</h1>	<h1 style="font-size: 2em;">芦屋断酒会</h1> <p>〒659-0025 芦屋市浜町 4-2 ☎ &amp; Fax : 078-882-0143</p>
--------------	--	--

3月\*月曜例会  
3月

3日 (月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
10日 (月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
17日 (月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
24日 (月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
31日 (月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)

\*金曜例会 (木口記念会館)

\*3/7(金)、3/14(金)、3/21(金)、3/28(金) 19:00~20:45 3階大会議室B

\* (のぞみ会) 例会案内

3月14日 (金)	10:00~12:00	芦屋市民センター (211)
3月31日 (月)	19:00~20:30	芦屋市民センター (212)

\*酒害相談 3月18日 (火) 13:30~15:00 芦屋健康福祉事務所

2月2日(日)市川正浩を偲ぶ会(追悼例会) 高松市サンポートホール

三光病院の市川先生が急逝され、皆が突然のことに驚いている中、先日、市川先生を偲ぶ会が高松市で開催されました。前日まで元気に仕事をされていて、本当に急な出来事だったようです。享年80歳でした。当日、東は愛知、南は沖縄からと、全国から300人ほどの仲間が集まり、哀悼の意を表しました。

数々の名語録があります。「鬼の市川」、「娘のある人は止められる」、「体験談は家族から、本人の体験談はどっちでもええ」、「死んでも人格は残る」等々、研修会での厳しい言葉に、苦手意識の人もいましたが、その言葉の裏には深い愛情が感じられました。

看護師の女性は、「就職して2、3か月の頃、定時5時の15分前に数人で雑談していたら、市川先生が「5時までは勤務時間です。それまではしっかり仕事をしてください。」と言われたのが今でも心に残っている。その言葉を頼りに今まで自分なりに一生懸命、仕事に取り組んできた。」と話された。

また年配の男性は「自分は20数回入院を繰り返してきたが、いつも、「やめるよう、努力しなさい」と言われてきた。自分なりに努力しているつもりなのに、それができないんや、と思っていた時、市川先生から「あんたもしんどかったんやなあ」と声を掛けてもらい、初めて自分の気持ちをわかってもらえた感激し、やめることができた。やめてもう何十年にもなる」と話をしてくれた。

看護課長は「3人の子供を授かったが、3人目の産休明け、休んでばかりで申し訳なく思っていると、「子供は国の宝だから大事にしなさい」と励ましてくださり嬉しかった。」と話してくれた。

「うちの職員は馬鹿だから」と言われることがあったが、その真意は、「至らない点は、みな院長の私の責任です、私がすべて責任を持ちます」との、職員への愛情だったことが皆さんの発言からくみ取ることができました。

いい追悼会に参加させていただきました。

3月 1日 (土)	兵庫県断酒会役員会	18:30~	兵庫区文化センター
3月 9日 (日)	阪神断酒会46周年一日研修会		長田区文化センター
4月 6日 (日)	尼崎断酒会創立16周年記念研修会	10:00~	尼崎市小田南生涯学習センター
4月13日 (日)	堺市断酒連合会創立55周年記念大会		堺市総合福祉会館